



大学や専門学校などの無償化策

住民税非課税世帯の学生

- 「準する世帯」も段階的に支援する
- ・進学後、成績が悪ければ支給打ち切りも

授業料減免	給付型奨学金
国立大 ・授業料・入学金を免除	学生生活に必要なお金を補助 ・教科書購入、通学、サークル活動など
私立大 ・国立大の金額に一定額を加えた分を免除	下宿生は家賃や光熱費、食費も含む

支援策を受ける大学や専門学校などの要件

- 実務経験のある教員の配置
- 一定割合を超えて外部人材を理事に任命
- 厳格な成績管理を実施・公表
- 財務・経営情報の開示

京都市の花園大に通う荒田航平さん(22)は、母子家庭で育った。「大学でやりたいことを探したい」と考え、母に頼らず進学。月12万円の奨学金で生活し、年約100万円の授業料は信用金庫から借りた。

来春に卒業して社会福祉法人に就職するが、約1千

万円の借金を背負って社会人として出発することにな

る。「自分で決めたわけで

新たな政策パッケージでは、低所得世帯の子どもが大学などに進学するため、授業料減免や返す必要のない奨学金の大幅拡充の方針が決まった。ただ、学生への支援と引き換えに、大学は外部人材の受け入れなどの改革を迫られることになる。背景には「大学は社会のニーズに応えていない」という政府側の不満がある。



には困難も予想される。もう一つの課題は、税金が投入される形となる大学や専門学校的絞り込みだ。

パッケージは対象となる学校に対し、「産業界のニーズも踏まえ、学問追究と実践的教育のバランスが取れている」ことを求める。要件として「実務経験のある教員」「外部人材の理事への任命が一定割合を超える」などを挙げた。林芳正文部科学相は8日、記者団に「(どの大学でも)何でもいい」ということではない」と語った。

政府関係者は「多額のお金をかける以上、大学の質の向上や体質改善につなげなければいけない」と解説する。今も私大の4割は定員割れしており、18歳人口がさらに減るなか、大学の再編や淘汰が進むのは避けられない。しかし、支援と引き換えないと認める。

(根岸拓朗、増谷文生)

の向上や体質改善につなげなければいけない」と解説する。今も私大の4割は定員割れしており、18歳人口がさらに減るなか、大学の再編や淘汰が進むのは避けられない。しかし、支援と引き換えないと認める。

小林教授は「2兆円の計画を誰がどう決めたか、全くわからない」と政策決定の不透明さも指摘する。文科省幹部も「今後の過程はなるべくオープンにしていかないと、納得を得られない」と認める。

高等教育無償化8000億円 学生は支援

大学に「体質改善」迫る

いつたん割れても、常温で数時間押し当てると修復するガラスを、東京大の相田卓三教授らが開発した=写真、同大提供。14日付の米科学誌サインスに発表した。

東大開発相田卓三

ガラスを構成する手法には、反発も出ていた。日本私立大学協会の小出秀文事務局長は「改革しない、ガバナンスが利かないと言われるが、多様な価値が追求されている私学の全体像をどこまでわかる」と話す。

東京大・大学総合教育研究センターの小林雅之教授は、政府が高等教育へのアクセスを支援することは評議しつつ「実務家教員の配置などが教育の質向上につながるか、根拠を示さないまま、お金で大学を誘導することになる。支援されることによる選択の幅も狭める」と話す。

ガラスを構成する手法には、反発も出ていた。日本私立大学協会の小出秀文事務局長は「改革しない、ガバナンスが利かないと言われるが、多様な価値が追求されている私学の全体像をどこまでわかる」と話す。

東京大・大学総合教育研究センターの小林雅之教授は、政府が高等教育へのアクセスを支援することは評議しつつ「実務家教員の配置などが教育の質向上につながるか、根拠を示さないまま、お金で大学を誘導することになる。支援されることによる選択の幅も狭める」と話す。